



uah^ (ウア！)

柳宗理から
深澤直人まで
日本のデザイン
60年

9月12日～10月29日

[http://www.uah-
paris.com/](http://www.uah-paris.com/)

ルーヴル美術館の近く、パリ1区の 62 RUE DE L'ARBRE SEC にアジア雑貨のお店がオープンして1年くらい、散歩がてら覗いてみました。9月12日～10月29日まで「柳宗理から深澤直人まで、日本のデザイン60年」というテーマで1階と地下の2フロアに、調味料、台所用品などの生活雑貨も含め、日本の製品が所狭しと陳列されています。若い人を中心に人気のようです。パリジャン、パリジェンヌの日本好きが納得できるお店です。日本の伝統工芸技術をモダンなデザインで製品化に取り組む島村卓美さんの商品も沢山並んでいました。



お店をオープンしたRomane SARFATI
(ロマーヌ・サルファティ:左)と
パートナーのFrédéric OLIVENNE
(フレデリック・オリヴェンヌ:右)





そろそろノエルのギフトをリストアップし始める時期...
エコロジーに感心の高いフランス人、1年に1度の大切なギフトは綺麗に包装したいけど、使い捨てのギフトペーパーは環境に良くない！その点、何度でも使える風呂敷は環境に優しいラッピングです。それに日本人よりも不器用(ゴメンナサイ!?)なフランス人は一発勝負の紙での包装は得意じゃない... 風呂敷なら何度でも包み直せるし「知ってる？これは

日本の風呂敷と言ってね！」とちょっと自慢もできます。ご覧のように品揃えも豊富で、風呂敷の包み方や使い方の本まで売られているので安心。風呂敷の品揃えはパリー番とフレデリックが自慢してました。ラッピングペーパーにリボンも可愛らしいけど、エキゾチックな色と柄の風呂敷、暖かな布の手触りや、フックラした結び目がフランス人には受けていいるようで、とても売れているとか。今年のパリは、ノエルのギフトが日本の風呂敷で包まれるなんて、何だか嬉しくなりませんか？風呂敷がパリで人気なんて素敵！



BENTO(弁当)がMANGA(漫画)のようにフランス語として定着するのも時間の問題！？



下は、島村卓美さんデザインの商品です。

